



新しい地域の顔 就任のごあいさつ

コミュニティ振興協議会

会長 江尻 東磨

先般のコミュニティ委員会で、会長職の続投を仰せつかりました。浅学非才の私ですが、地域のさらなる発展のために全力をあげて頑張る覚悟しております。

さて、今年度は新「コミュニティ計画」踏み出しの年であります。そのビジョン実現のために、コミュニティ事業を見直し、これに対処する専門事業推進室を編成しました。中でも、地域資源を活かした活力のあるまちづくりを進める「住民起業室」、安心安全のまちづくりを進める「安全対策室」を新設しました。折りしも、平成十七年度はコミュニティ創設三十周年の年にあたりますが、中越地震を被災したことから

派手な記念行事はひかえ、復興に向けた元氣と勇気を生み出すような事業に取り組んでまいります。

また、地震で甚大な被害を受けたセンターの大規模な改修も併せて行われます。

ご存知のように北条地区も年々高齢化、少子化が進んでおります。

しかしながら、地域の皆さまが積極的に過疎対策・地域振興に取り組んでいただいておりますので、まだまだ心配は要らないように思います。

これから安心して、快適に暮らせるまちづくりのために、皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます

北条地区  
コミュニティ  
振興協議会  
TEL25-3355



総代連絡協議会

会長 神林 良定



遅い春も時を迎えれば野山は一斉に緑を増し、麗しい季節となりました。

さて、先般四月八日の総代会改選において、不肖、私が会長に選任され、我が耳を疑ったところです。

この重責を全うするには役員並びに各総代皆さまのご指導とご協力をいただくなくてはなりません。この一年間一生懸命頑張る所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年の大地震災害は忘れていたことを思い出させてくれました。昭和二十年の敵機空襲時や極度の食糧不足など。

そして平成の大地震はつぎ。道路損壊で買物にも行けない不自由さを味わい、余震の揺れに怯える毎日でした。

これらはあつてはならないことですが、誰もが予測できません。

これらを教訓として、この地域では、まず何が必要で何ができるのか。皆さん一人ひとりが考えて住みよいまちづくりを目指して欲しいと思っております。

総代会役員

- 副会長 石橋 賢一
- 事務局 堀 智昭
- 会計監査 木村 正美
- 同 室賀 則顕

小学校統合同題

第一回検討委員会開催

事務局

組織の立ち上げについては昨年八月五日号の広報でお知らせしましたが、その後、十月一日付けで三十三名の委員に委嘱状を交付いたしました。

去る二月二十五日に市教

育委員会事務局より山田教育次長および各課長のご出席をいただき、第一回の委員会を開催しました。教育委員会の説明をお知らせします。

平成十五年十月十五日の「柏崎市学区等審議会」の答申に基づき、両小学校校舎の老朽化、児童数の今後の見込み等、特に両校舎とも耐震調査結果は基準以下である状況から新しく建設することが望ましいが、今後合併による新市計画で盛り込むことになる。市単独では建設不可能であり、国庫補助を導入しなければならぬ。教育効果と経済効果両面を考へるとき統合はやむを得ない事情にある。

今後、地域の要望や考えを尊重しながら一緒に英知を結集し、将来ある児童の教育環境の整備に努めたいので、平成十八年三月末日までに地域の要望等を取りまとめ願いたい旨の説明がありました。

これから本格的な議論に入るわけですが、今後集約するために各方面からの要望、ご意見等を幅広くお聞かせください。